

内容刷新

2019 眼光学チュートリアルセミナー

理解しやすい

— 眼科医・視能訓練士・オプティカルエンジニアのための —

【日 時】 2019年8月3日(土) 9:30~17:50
4日(日) 9:00~15:45 2日間

本チュートリアルの趣旨と特長

日本の QOV (Quality of Vision) は、眼光学に関心の深い眼科医、視能訓練士、理工系の研究者、それと関連する企業の尽力により、世界的に見ても高品位に保たれていますが、実際の臨床現場ではより深い眼光学の知識を必要とする機会が多くなっています。そこで、知っておくべき、あるいは臨床で困ったときに役立つ光学知識を、眼光学の観点から解りやすく解説するセミナーを開催します。

今回で第12回目を迎えますが、既に約1,500名の方が受講され、たいへん好評を博しております。本年度も、前回アンケート結果をふまえて大幅に講義の見直しを図りました。眼科医、視能訓練士はもちろん、オプティカルエンジニアの方にも有益な内容となっておりますので、ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております。

☆ 前回のアンケートより (一部抜粋)

- ・波面収差の勉強ができたので、角膜(前面、後面)や水晶体の形状変化などに注目して臨床に臨みたい。眼底カメラやOCTのしくみに着目しながら、正しい結果を残していきたい。
- ・臨床で活用します。IOL計算の計算式の選択や角膜疾患のある症例の形状解析は非常に勉強になりました。
- ・色覚入門が面白かった。色覚異常の見え方～色度図の読み方が理解できた。苦手意識の強い分野であったが、メカニズム、原理を理解でき、臨床応用、アドバイスに活用したい。
- ・多焦点 IOL を導入することになりそうなので、その為今回こちらの勉強会に参加しました。シミュレーションを用い、各レンズでの見え方を具体的に示して下さい、大変参考になりました。又、多焦点 IOL 挿入眼での HF の感度低下や OCT 上では画質の低下のみで有意差はないなど、教えていただき、大変勉強になりました。色覚入門、私にも分かり易く面白かったです。

【スケジュール】 裏面をご覧ください。(多少の変更はご了解下さい)

【主催】 日本眼光学学会、一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会

【後援】 公益社団法人日本視能訓練士協会

【認定事業】 1. 一般財団法人日本眼科学会 生涯教育事業認定事業 (予定)
2. 公益社団法人日本視能訓練士協会 生涯教育認定事業

【会場】 機械振興会館 地下2階ホール (東京都港区芝公園3-5-8)
(アクセス <http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>)

【交通】 【地下鉄】 東京メトロ日比谷線 (神谷町駅下車 徒歩8分)
都営地下鉄三田線 (御成門駅下車 徒歩8分)
都営地下鉄大江戸線 (赤羽橋駅下車 徒歩10分)
都営地下鉄浅草線・大江戸線 (大門駅下車 徒歩10分)

【JR】 山手線・京浜東北線 (浜松町駅下車 徒歩15分)

【東京モノレール】 浜松町駅下車 徒歩15分

【参加費】 今回は活性化を図るためランチョンセミナーを開催いたしますので参加費を値下げしました。
日本眼光学学会 会員: 20,000円 JOEM 会員: 20,000円
(公社)日本視能訓練士協会正会員: 10,000円 研修医 / 学生: 10,000円
— 一般: 25,000円 (テキスト・カラー版 CD 代, 消費税込)

【申込期限】 2019年7月26日(金)まで (定員(200名)になり次第締め切ります。)

【申込方法】 お申込みフォームは下記のURLからお入りください。

お申込み受付後、一週間以内にJOEMから申込責任者宛に受講票と請求書をご郵送いたします。一週間経ってもお手元に届かない場合はお手数ですがご連絡をください。

<http://www.joem.or.jp/moushikomig.htm>

※ 参加費の払い戻しはいたし兼ねます。お申込みされた方のご都合が悪くなった場合は、代理の方がご出席下さいますようお願いいたします。

【振込先】 口座名: 一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会
取引銀行: みずほ銀行 神谷町支店 普通預金 2187994

【申込先及び問合せ先】 一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-22
TEL: 03-3435-9321 FAX: 03-3435-9567 E-mail: info@joem.or.jp

※ 二日間お昼休み時間を利用して、同会場にてランチョンセミナーを開催いたします。
参加費は不要で、お弁当を配布いたしますので、ぜひご参加いただきたくお願い申し上げます。

JOEM

一般社団法人 日本オプトメカトロニクス協会
〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番22号 機械振興会館別館内
TEL (03)3435-9321(代) FAX (03)3435-9567
<http://www.joem.or.jp> E-mail: info@joem.or.jp

JAPAN OPTOMECHATRONICS ASSOCIATION 3-5-22 Shibakoen, Minato-ku, Tokyo 105-0011, Japan

2019 眼光学チュートリアルセミナー 講義内容

8 月 3 日 (土)	9:30 9:45	オリエンテーション - 眼光学関係の最近のトピックス (眼科領域の AI の可能性) - 眼科領域の AI の応用について、眼底写真、HESS 検査などを例に概説する。 大阪大学 大学院医学系研究科 病態制御医学専攻 感覚機能形成学 教授 不二門 尚氏
	9:45 10:30	デジタルデバイスの普及と輻輳・調節 調節負荷と輻輳努力の増加を生じる、近距離でのスマートフォン使用の、斜視への影響と、近視化の可能性について言及する。 大阪大学 大学院医学系研究科 病態制御医学専攻 感覚機能形成学 教授 不二門 尚氏
	(休憩 10 分)	
	10:40 11:50	光学入門 - 幾何光学と波動光学 - セミナー全体の基礎となる眼光学について図解を中心に説明し、光の持つ“波の性質”と“光線の性質”とを再確認すると共に、後段の講義への橋渡しをする。 公益社団法人日本視能訓練士協会 事務局長 関谷 尊臣氏
	(休憩 10 分)	
	12:00 12:45	水晶体の加齢変化と視機能 水晶体は、加齢に伴い形状や屈折率等が変化し、弾性や光学特性が低下する。水晶体と視機能の関係、機能的役割や加齢変化についてわかりやすく解説する。 北里大学 医療衛生学部 視覚機能療法学専攻 准教授 川守田 拓志氏
	(昼食 60 分)	
	13:45 14:30	眼内レンズによる屈折矯正 眼内レンズ度数決定法について解説する。国内外の眼内レンズの最新情報を概説する。 慶應義塾大学 医学部 眼科学教室 教授 根岸 一乃氏
	(休憩 10 分)	
	14:40 16:00	眼球光学入門 眼球光学系の特性を MTF の考え方で、角膜、水晶体から網膜を経て、大脳神経系までを統一的にわかりやすく解説し、像のコントラスト変化の理解を深める。 千葉大学 フロンティア医工学センター 客員教授 大沼 一彦氏
	(コーヒーブレイク 10 分)	
	16:10 16:55	視覚生理光学入門：大脳における視覚情報処理 網膜像が正確に形成されても、視神経により脳に送られた視覚情報が適切に処理されなければ視覚は成立しない。大脳の神経細胞が何をどのように表現しているのかを解説する。 大阪大学 大学院生命機能研究科 脳情報通信融合研究センター (CiNet) 教授 大澤 五住氏
(休憩 10 分)		
17:05 17:50	色覚入門 ヒトの感覚である色覚のメカニズム、色の表し方、等、知っておくべき色の基礎について解説する。色覚異常の考え方、色覚検査の原理にも触れる。 帝京大学 医療技術学部 視覚矯正学科 教授 小林 克彦氏	
8 月 4 日 (日)	9:00 9:45	ロービジョンの光学的解説 ロービジョンの患者の多くは光学的拡大を必要とする。拡大の効果、適切な拡大率の求め方とその実現方法、等価屈折力の概念、多様なニーズに対応する方法を説明する。 東京女子大学 現代教養学部 教授 小田 浩一氏
	9:45 10:30	焦点深度拡張型レンズ (IOL, CL, 眼鏡レンズ) 老視矯正用の眼内レンズ、コンタクトレンズ、眼鏡レンズの光学デザインと性能を光学的なシミュレーション像を使ってわかりやすく解説する。 千葉大学 フロンティア医工学センター 客員教授 大沼 一彦氏
	(休憩 10 分)	
	10:40 11:25	眼底観察・撮影法と今後の展望 眼底の観察・撮影は、瞳孔とレンズ系を通して照明光を入射し、射出される観察光を得ることにより可能となる。様々な観察システムの基本と今後の展望について解説する。 国立病院機構東京医療センター 眼科 医長 / 東京医療保健大学大学院 看護研究科 臨床教授 野田 徹氏
	(休憩 5 分)	
	11:30 12:15	角膜形状解析の新しい展開 角膜形状解析は、屈折矯正手術の術前術後、角膜形状異常の診断に加え、白内障手術の術前にも使用されるようになっており、目的に応じた使用法について簡潔に解説する。 湖崎眼科 副院長 前田 直之氏
	(昼食 55 分)	
	13:10 13:55	OCT 装置のしくみと新しい展開 - 技術の立場から - OCT 装置を眼科応用するための技術的な仕組みをひも解き、眼科用 OCT の有効性を紹介するとともに、現在多方面で進められている OCT 技術の発展を紹介する。 株式会社トプコン R&D本部 R&D企画部 上席部長 / 理化学研究所 光量子工学研究センター 秋葉 正博氏
	(休憩 5 分)	
	14:00 14:45	臨床 OCT、撮影と読み方の基礎 OCT は正しい方法で撮影を行い、所見を正確に解釈することで初めて有用となる。本講演では撮影にあたってのポイント、および各所見の解釈について分かりやすく解説する。 国立病院機構東京医療センター 臨床研究センター (感覚器センター) 視覚研究部長 角田 和繁氏
	(コーヒーブレイク 15 分)	
	15:00 15:45	光学的アプローチによる近視進行抑制 軸外収差理論に基づく近視進行抑制が広く行われている。なかでもオルソケラトロジーのエビデンスレベルは高い。高次収差が近視進行に抑制的に働く可能性も示唆されている。 筑波大学 医学医療系 眼科 講師 平岡 孝浩氏